

information 各種情報

安全で快適な海水浴を

夏を迎え、海や山などで、自然に親しむ機会が多くなってきました。

例年この時期には、遊泳中の事故が発生し、残念なことに死亡事故につながることも少なくありません。

こうした事故は、みなさんのちょっとした心がけや注意で防げるものです。

安全で快適な海水浴を楽しむため、次のことに十分注意しましょう。

- ◆標旗、うきなどによって区切られた遊泳区域内で泳ぎましょう。
- ◆泳ぐ前には、必ず準備体操を行い身体を海水に慣らしましょう。
- ◆小さな子どもには、保護者が必ず同伴しましょう。
- ◆身体の具合が悪いときは、海に入らないようにしましょう。また、酒類を飲んだ後の遊泳はやめましょう。
- ◆高波などで遊泳禁止になったときは海に入らないなど、監視員の指示に従いましょう。
- ◆離岸流（海岸に打ち寄せられた海水が沖に戻る強い流れ）に流されたら、慌てず海岸と平行に泳ぎ、離岸流から離れましょう。
- ◆日が暮れてからは、泳がないようにしましょう。
- ◆他人の迷惑となる行為はしないようにしましょう。
- ◆遊泳区域内に、ヨット、サーフボード、モーターボートその他接触した場合に人の身体に危害を及ぼす恐れのあるものなどを乗り入れないようにしましょう。
- ◆魚介類を採取しないようにしましょう。
- ◆空き瓶、空き缶、紙くずなどは必ず持ち帰りましょう。
- ◆自家用車を利用するときは、交通事故防止の注意を払いましょう。

海や浜はみんなの貴重な生活や生産の場です。

いつまでも気持ちよく利用できるよう、事故の防止や環境への配慮を心掛けましょう。

◎問い合わせ先

北海道環境生活部くらし安全局文化・スポーツ課
☎ 011-204-5209 FAX 011-232-8695

熱中症と高温注意情報について

全国的には涼しい北海道ですが、上川・留萌地方においても日中はかなりの高温となります。昨年と同様、熱中症への注意を呼びかけるために「高温注意情報」の発表が開始されました。最高気温が33℃以上になると予想した場合に、「高温注意情報」を当日の朝または昼前に発表し、熱中症への注意を呼びかけています。ちなみに宗谷地方では、最高気温が31℃と予想された場合に高温注意情報が発表されています。

熱中症は、最高気温25℃以上となる「夏日」くらいから現れ始め、最高気温30℃以上となる「真夏日」あたりから亡くなる人が増え始めます。

熱中症は、気温だけでなく、湿度や風速も関係しますので、屋外だけでなく風通しの悪い工事現場、体育館それから家庭の浴室なども要注意です。

外出時の暑さ対策、こまめな水分補給、それから塩分補給も必要となります。室内では換気、風通しをよくするなど節電を意識しすぎない涼しい環境を作ってください。

◎問い合わせ先

旭川地方气象台 ☎ 0166-32-7102
HP <http://www.jma-net.go.jp/asahikawa/>

「労働相談ホットライン」をご利用ください

労働条件や解雇などの労働問題でお困りのときは、「労働相談ホットライン」（フリーダイヤル（通話無料））をご利用ください。

労働問題に精通した社会保険労務士が相談をお受けしています。

平日は夜間だけとなりますが、土曜日の午後もホットラインを開設していますので、平日は仕事が忙しくて電話できないという方も、お気軽にご相談ください。

なお、平日の昼間のご相談は、国の相談窓口である最寄りの「総合労働相談コーナー」をご利用ください。

フリーダイヤル 0120-81-6105

（相談受付：月～金曜日（祝日・12月29日～1月3日を除く）17時～20時

土曜日（祝日祝日・12月29日～1月3日を除く）13時～16時）

◎問い合わせ先

北海道経済部労働政策局雇用労政課就業環境グループ ☎ 011-204-5354